

地方創生推進交付金事業評価シート

項番	施策・事業内容						重要業績評価指標 (KPI)					外部検討委員会	備考																														
	事業の名称	事業の概要	事業実績額(千円)	事業の内容	担当課	評価	指標	基準値	H29年度末目標値	H29年度末実績値	5年後の目標値	評価																															
①	地域を主体とした世界農業遺産活用戦略推進事業	<p>【課題】 みなべ、田辺地域は、国内最大の梅の生産量を誇り、梅干し等の加工業が発展してきた。2012年の梅の生産量は4万4千トン、農業産出額は130億円以上、加工品の製造も含めると約700億円となり、梅の生産農家、梅の加工業など梅関連産業の従事者は全就業人口の約7割を占め、まさに地域の基幹産業となっている。</p> <p>しかし一方で、米食の減少や若者の梅干し離れなどによる梅の消費量の減少、価格の低下により、梅の生産量や加工品の売上額が縮小し、地域の経済、雇用にも影を落とすつつある。</p> <p>【事業概要】 元気なまち、元気な若ものを育成するため、世界農業遺産の活用保全の中で、住民を主体とした取組を推進、地域の魅力を発信できる人材、地域に残る人材、リーダーとなれる人材を育成する。また世界農業遺産の認知度向上、梅や関連特産品の消費拡大のため、首都圏でのシンポジウムの開催、国内8つの世界農業遺産認定地域と共同で都市圏での物産展開催や、認定地域間のコラボ商品の開発等に取り組む。</p> <p>さらに、梅（UM E）関連製品の輸出、海外市場開拓のため、海外のシェフによる梅を使ったメニュー開発やレストラン等のバイヤーを呼んでの商談会、メディアを呼んだ海外発信により、地域内事業者と海外とのネットワーク構築を図る。</p> <p>その他、地域（梅システム）の保全のため、官民学（行政、地域、大学、高校）が連携して、ミツバチによる生物多様性評価の分析を行い、今後の地域の梅のブランディング、新たなミツバチ関連の商品開発に繋げる。また海外研修生の受入を推進し、世界に梅産業・文化を発信していく。</p>	9,172	<p>【人材育成】 752千円 世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」を理解し、発信できる人材「梅システムマスター」を育成するため、和歌山大学と連携し、年間4回（4日）の講座及び現地研修を開催。 住民主体で実施する、保全活用の取組に対して支援を行った。</p> <p>【調査研究・活用検討】 4,438千円 梅システムに欠かせない、ミツバチや生物多様性に関する調査研究を京都産業大学、地元養蜂家、地元高校と連携し、梅へのミツバチの貢献度やハチミツ（生産物）に含まれる梅の蜜を分析を行った。また、2016年度に作成した活用プランの検討、作成のために組織した専門部会において、活用プランの推進、先進地事例研究や新たなプランも検討した。</p> <p>【海外戦略】 394千円 JETRO連携事業として、梅・梅加工品の海外市場販路開拓のため、対象品目ごとにターゲット国、地域、売り込み先を選定し、支援スキームを決定する。具体的なアプローチとしては、海外販路開拓（バイヤー・シェフ招聘、ミッション派遣）と現地情報発信（プレス・ブロガー招聘）を効果的に組み合わせ、短中期（2～3年）的に目標を設定し実施。実施にあたっては、和歌山県、田辺市、みなべ町、県農、JA、うめ研、関西国際観光推進本部などの関係団体と協議・役割分担しながら行い、JETRO事業に含めることができないバイヤーやシェフ、プレスを招聘する場合の一部費用や海外ミッション派遣における参加企業の負担を支援する経費を協議会事業として補完した。また、海外研修生を受入、技術指導や地域の若者との交流。さらに、受入のための海外でのPRを実施。</p> <p>【消費拡大及び情報発信】 3,506千円 国内外の消費者向けに、世界農業遺産や梅を含めた地域特産品をPRするため、首都圏でのシンポジウム開催や世界農業遺産国内認定地域と共同で物産展等を開催することで、世界農業遺産の認知度向上と消費拡大を図った。</p>	うめ課	B	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①訪日外国人宿泊客数</td> <td style="text-align: center;">81,809人</td> <td style="text-align: center;">91,809人</td> <td style="text-align: center;">78,996人</td> <td style="text-align: center;">131,809人</td> </tr> <tr> <td>②新規就農者数</td> <td style="text-align: center;">10人</td> <td style="text-align: center;">14人</td> <td style="text-align: center;">24人</td> <td style="text-align: center;">30人</td> </tr> <tr> <td>③二ホンミツバチの飼養数</td> <td style="text-align: center;">364群</td> <td style="text-align: center;">389群</td> <td style="text-align: center;">393群</td> <td style="text-align: center;">564群</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">うちみなべ町分</td> </tr> <tr> <td>①訪日外国人宿泊客数</td> <td style="text-align: center;">50,851人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">42,175人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②新規就農者数</td> <td style="text-align: center;">3人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">9人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③二ホンミツバチの飼養数</td> <td style="text-align: center;">167群</td> <td></td> <td style="text-align: center;">236群</td> <td></td> </tr> </table>	①訪日外国人宿泊客数	81,809人	91,809人	78,996人	131,809人	②新規就農者数	10人	14人	24人	30人	③二ホンミツバチの飼養数	364群	389群	393群	564群	うちみなべ町分					①訪日外国人宿泊客数	50,851人		42,175人		②新規就農者数	3人		9人		③二ホンミツバチの飼養数	167群		236群		A
①訪日外国人宿泊客数	81,809人	91,809人	78,996人	131,809人																																							
②新規就農者数	10人	14人	24人	30人																																							
③二ホンミツバチの飼養数	364群	389群	393群	564群																																							
うちみなべ町分																																											
①訪日外国人宿泊客数	50,851人		42,175人																																								
②新規就農者数	3人		9人																																								
③二ホンミツバチの飼養数	167群		236群																																								

施策・事業内容の評価欄について

- A: 地方創生に非常に効果的であった(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)
- B: 地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)
- C: 地方創生に効果があった(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進し・改善したとみなせる場合)
- D: 地方創生に対して効果がなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)

外部検討委員会の評価欄について

- A: 総合戦略のKPIの達成に有効であった
- B: 総合戦略のKPIの達成に有効とは言えない